



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	都市社会学 : 昭和28年度特殊講義案 第9巻
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Description	東洋大学社会学部大学院社会学研究科講義案。緒論、都市社会学論。
Issue Date	1953
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/77387
Type	manuscript
File Information	N017_01S28.pdf



— NOTE BOOK —

Manufactured with finest paper
Special selection of Hakuyo

都市社会学

二十八年度
特殊讲义案
第九卷

绪论

都市社会学论

緒言

一 都市計画の意義 (領域及び位置)

✓ 四 都市計画の目的

✓ 三 都市計画の範囲 階層的発展の過程

五 政治的及び経済的都市計画

六 都市計画の歴史 都市計画の取扱い

✓ 二 都市計画の意義 都市計画の意義

要旨として 都市計画の意義

✓ 七 都市計画の歴史 都市計画の取扱い

八 都市計画の意義 (都市計画の意義)

九 都市計画の意義 (都市計画の意義)

十 完全型と不完全型

法字五調五志の調五成糸ル調五文

實證的分子

此
 時
 の
 國
 家
 主
 義
 論
 者
 大
 多
 数
 の
 人
 々
 は
 此
 の
 如
 き
 理
 由
 上
 の
 論
 議
 を
 行
 っ
 た
 上
 に
 大
 體
 一
 致
 的
 な
 結
 論
 へ
 達
 した
 こと
 が
 明
 確
 である。

1. 打
 2. 研
 3. 通
 4. 用
 5. す
 6. 方
 7. 序
 8. で
 9. 考
 10. 考
 11. 考
 12. 考
 13. 考
 14. 考
 15. 考
 16. 考
 17. 考
 18. 考
 19. 考
 20. 考
 21. 考
 22. 考
 23. 考
 24. 考
 25. 考
 26. 考
 27. 考
 28. 考
 29. 考
 30. 考
 31. 考
 32. 考
 33. 考
 34. 考
 35. 考
 36. 考
 37. 考
 38. 考
 39. 考
 40. 考
 41. 考
 42. 考
 43. 考
 44. 考
 45. 考
 46. 考
 47. 考
 48. 考
 49. 考
 50. 考
 51. 考
 52. 考
 53. 考
 54. 考
 55. 考
 56. 考
 57. 考
 58. 考
 59. 考
 60. 考
 61. 考
 62. 考
 63. 考
 64. 考
 65. 考
 66. 考
 67. 考
 68. 考
 69. 考
 70. 考
 71. 考
 72. 考
 73. 考
 74. 考
 75. 考
 76. 考
 77. 考
 78. 考
 79. 考
 80. 考
 81. 考
 82. 考
 83. 考
 84. 考
 85. 考
 86. 考
 87. 考
 88. 考
 89. 考
 90. 考
 91. 考
 92. 考
 93. 考
 94. 考
 95. 考
 96. 考
 97. 考
 98. 考
 99. 考
 100. 考

下史家の筆蹟を同書に見
又分濟一書。

都予の所爲に余自身の作態が少く

1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100

2. 2. 2. 2. 2.

~~この石を
おぼろに
おぼろに~~

弥の上は
彼を驚く
事なきに
止む。常

税
実
に
結
ぶ
方
政
策
上
に
て
ス
ト
ナ
ク

[illegible]

常にその如くして統計を

違ふからしむる異常生活群の存在を
考へ外に於ては常生活者又について
此の諸道を弄つてゐるものが多い。

かくの如き差違は一般の生活の環境
から来る。然しこゝでも常に現象より見れば
たゞこゝはなほ。異常生活と群を捨棄し
て専ら正常としてゐる。さうしなせし
は現象の都市は新に混雑して本
質も枝葉も多量に増えつゝある。幹や
根の如い部分に於ては枝葉を落して
之より又ゆきである。異常生活と群
は都市の基である。

のちをたしめてみる。

税金をどの解法から即ちとるか、どの
 税金とどの税金を比較して、より、単純
 実の差、次の方法、技術に同じ、税金の
 都市を、ある、の、計算、結果、に、見、よ、と、そ、う
 か、多、い、か、を、わ、か、す、~~た~~、^も、な、う、。

一、都市を以てする等の領域

私は戦時時代の日本都市の概念の上に

都市の概念を規定し

そしてこの概念が必要とする現代都市の

時代の日本都市概念の外に都市

も都市の概念に入る。

今の外に都市的存在を認めよう。

のこ、また、都市は自然に生ずるもの

で、都市の時代や時代外にのちの時代

を考慮する必要がある。

私の都市の概念は、都市の都市

の考えの上に構築されたものである。

更に又私は都市の外に都市
的存在を認めざる。都市的要
素が一定の数量以上に達した時
之れを都市として認め、都市的
要素が存在し得るが其の数量
に達しない場合は私はこれを
前都市的存在と云ふ所也
前都市的存在も政治の点に
来れば存する者、他の諸口にも
過當にも有して居ると思ふ所也

六丁集の物ゝ取扱ひ

私は日本の宗のそ家には了的發展

の勸を立論した。家族を三つの類型

に分類した。家族の歴史時代の發展

に於ける家族形式が三種類に分れてお

り又これ以外の形式は存在しない。

即ち同族家族は世代を重ねるにつれて無限

に増大して行く形式、直系家族は一世

代毎に同一の家族構成の変化を無限

に繰り返す形式、夫婦家族は一

世代で家族が終止する形式である。

若しこれと横つて之は同族家族とい

うべきである。

夫婦家族と同一の構成の場合もあり
また多家族にも夫婦家族と同一形式
の場合もあり。現在の時点に於いて
やや断言に於ける家族関係は
欠乏は家族の特性はゆるかにあるた
い。右の五親が家族^の関係として
如何に本質的に異なるといふかは
あるが、少なくともその相異は
現在^のおける横の断絶には反映し
なへりて、むしろ、社会的態度形式
における相異が基礎として右の三形式
を説明したのである。

[illegible]

[illegible]

過言の

私は實に傳統が現れ他人の然る
ル及ぼす影響をいふに止つてゐる。こゝに
ない。你へは同族宗族は名限に拡大
して行く形式である。然しこの拡大を求むる
は、遠慮に進行せしむるに依るの意即ち
又（この）制約の中には、おほくある。他宗族の
自り持の所謂大宗族に代つて、制約は
其子々孫々帯を許容せしむる。二男
以下及び是子の妻とあり。世々外は
其子孫は、ゆゑされて居る。其の爲に、
大はすといふは、世々不遠にあり。この宗
族の制約は、非常に入道。世代に亘る。

人同様に
おけり
右の如
く
ある
の

時分の終り
ニ
ハ
知

考工記

つう
か
て
の
積
校
に
か
二
本
署
に
お
け

この考へを

生活措置の一例の一

五七五 公考

同日午
14時
計。
親類
の制存は、
偉大

の
宝
礎
に
お
け
る
財
産
の
制
度
の
變
遷

此の考可しか
麻務な服の

利名を求めず
は、
高祖より江
平廓より
和

[illegible]

20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000 1001 1002 1003 1004 1005 1006 1007 1008 1009 1010 1011 1012 1013 1014 1015 1016 1017 1018 1019 1020 1021 1022 1023 1024 1025 1026 1027 1028 1029 1030 1031 1032 1033 1034 1035 1036 1037 1038 1039 1040 1041 1042 1043 1044 1045 1046 1047 1048 1049 1050

かくのちくせいのうきくに至る時子爵の流の

5
ル
来
2
力
社
な
何
協
同
に
よ
る

上まで
（東）
お-
うの
先
活の
サ

弘
何
な
部
分
に
多
数
を
得
て
相
手
と
す
る
は

か
の
ち
き
(何れの村に)
の
措
迄
や
足
水
に
よ

之
之
紙
升
立
上
一
条
の
下
に
記
入
し
た
り

解 約 手 続 送 入 理 解 方 法 江 本 孝 房

[illegible]

天
道
左
天
以
何
心
分
折
く
う
も
32
解
つ

た
た
の
は
あ
然^は
て
か
い
う
か
#

次人 物 以 下 生 的 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

う親類名があるから、これに限るをなく
か、ついでの高祖を述べてよい。

日本の親類の親類域は、儒教の

宗祖に於ける、昭の制を以ての毀授し

たものと云へるが、その傳説に於て

「新立」は高祖を以ては宗廟に於て

るが、^{いふまでもなく}「昭」は宗廟に於て

「昭」は一人く、^{さくなく、昭の}昭の制を以ては、その

昭は、^{人の}昭の制を以ては、その昭を以て

宗廟に於て、^{昭の}昭の制を以ては、その昭を以て

「昭」は、^{昭の}昭の制を以ては、その昭を以て

その昭の制を以ては、その昭を以て

古くは家制をとり

あ。これ程の範囲は人の平均年齢
年齢や死亡年齢など其の確率として算
定すれば大抵十戸より十二三戸位の
家に分るすといふこととせられ。

この制度において家を単位とし親と祖國を四代
前迄と限つたのはこの他は他より親を
よりと考へるからこの範囲は人の
感情の範囲に依るから親の範囲
あると考へるのである。意之傳承は違ひ
ない世代にも及ぶ感情の傳承は
この親族に止まるであらう。
宋の「祖父の休養」も
孫子に依るからである。それは年輩の
うけつたものである。

十完全型と平持型

自然性。特には完全型と平持
型とは別。理合に於てその性質
有也。亦ちその如く理合に於
ては完全型の意味。理合に
てよりより完全型と云ふ可なり
也。ここに其理合の性質
あり。

十一 社会科 各 行 電 正 才 才
サ の エ ン ち と 量 ち に 判 型 っ ち
ア 史 的 一 回 性 的 現 是 世 っ ち っ ち
常 々 他 姓 の 下 っ ち 定 量 定 分 科
は 本 来 的 対 象 には 可 能 判 型
っ ち っ ち